



鷺の宮卓話

「寝食を共にする教育」

研究所理事長 太田敬雄

「塾」という言葉に惹かれて私は一冊の本を読み始めている。私は教育を考えるたび、自分が受けた教育を思い出す。高校時代玉川学園高等学校の「塾」で過ごした豊かな3年間だ。

その「塾」という名称に久しぶりに出会ったのは三浦英之著の『五色の虹』。2015 年第 13 回開高健ノンフィクション賞を受賞している。旧満州の最高学府として創設された建国大学で学んだ学生たちを追った記録である。「五族協和」を实践する目的で建てられた建国大学は 1945 年の満州国崩壊とともに姿を消す運命となったために僅か 8 年しか存在しなかった大学だ。

五族協和とは、五つの民族が力を合わせて一つの社会を作り上げるといような意味で、著者三浦の言葉を借りると建国大学は「日本が独自に創設した初の『国際大学』」(p.22)であり、そこでは日本人学生は半分、残りは中国、朝鮮、モンゴル、ロシアの学生に割り当てられていたという。建国大学では「異民族の学生たちは『塾』と呼ばれる二十数人単位の寮に振り分けられて、授業はもちろん、食事も、睡眠も、運動も、生活のすべてを異民族と共に実施するよう求められていた」(p.21)と記されている。それだけ読んで血が騒いだ：本来なら、この一冊をしっかりと読み終えてから紹介すべきところだが、今私は「国際大学」と「塾」の二語に惹かれて冒頭の数ページを呼んだだけでこの文をしたためている。したがって、ここに記すのは『五色の虹』についてではなく、最初の数ページから喚起された私の教育に関する思いにしか過ぎないことをお断りしておかなくてはならない。

さて、玉川学園で過ごしたのはもう 50 年以上も前

になるが、制服が背広だった。制服と言えば詰襟と決まっていた時代にスーツとネクタイでの高校生活が始まった。最初の年、私は「暁峰塾」の 6 人部屋の 1 室に入った。その部屋には台湾からの留学生である中学生 1 名、高校生は 1 年の私と 3 年の先輩の 2 名、それに大学生が部屋長の教育学部の 2 年生と 1 年生 2 名だった。2 年目も新たな顔ぶれの 6 名と暁峰塾で過ごし、3 年目には私は若葉塾の 3 人部屋に入った。部屋長はインドからの留学生、チャンドラ・パル・シンさんという大学生だった。

チャンドラさんは寝る時には枕元に木刀を置いた。どうして木刀を置くのか聞いたところ、彼は真面目な顔で「夜中に襲われたら、これで戦う」と答えた。本気とは思えなかった部屋員の私たちは数日後、試してみることにした。チャンドラさんが寝入るのを待ち、彼に襲い掛かってみた。普段穏やかで物静かなチャンドラさんだが、この時は瞬間に目覚め、同時に木刀を握って戦闘体制入っていた。我々二人、慌てて詫びたことを思い出す。

寝食を共にして過ごす中での学びの大きさを、そして異なる文化を持つ人と共に生活することの意味をチャンドラさんとの小さな出来事の積み重ねの中で学ばせて貰った。『五色の虹』の三浦はこう記している「同世代の若者同士が一定期間、対等な立場で生活を送れば、民族の間に優劣の差などないことは誰もが簡単に見抜けてしまう。(建国大学の日本人学生たち)は、日本は優越民族の国であるという選民意識に踊らされていた当時の大多数の日本人のなかで、政府が掲げる理想がいかに矛盾に満ちたものであるのかを身をもって知り抜いていた、極めて希有な日本人でもあった。」(p.23)

3つの多文化交流から

多文化交流 in 静岡 2015

2015年8月25日(火)～27日(木)に、静岡県静岡市清水和田島自然の家にて実施しました、多文化交流 in しずおか2015夏より。常葉大学の多文化交流サークルの学生たちが企画運営スタッフを担ってくれました。



流しそうめん、川遊び後のはじける笑顔。
夏を満喫できたようですね。

常葉大学 福島梨帆

今年度(27年度)の多文化交流 in 静岡は私にとって大切な思い出、経験になったとおもいます。参加者やスタッフとしての多文化交流はありましたが、自分が代表になっての参加は初めてのことでした。作ってくにあたって、参加してくれる人が「参加して良かった」「また、参加したい」と思ってもらえるように意識しました。今回は、韓国、インドネシア、中国、台湾、ブラジル、ペルー、日本からの参加者が集り合計45人くらいで賑やかになりました。施設が山の中なので、自然と触れ合いながら仲を深めることができるプログラムにしました。川遊びや川の前で流し素麺、飯盒炊飯、クイズ大会等を行いました。台風が静岡に直撃との予報で外で行うプログラムはすべて中止になってしまったと思いましたが、二日目の午後晴れたお陰で川遊び・流し素麺を行うことができました。川遊びは、中止になる予定だったこともあり、みんな幼い頃に戻ったようにはしゃぎ楽しんでくれていました。飯盒炊飯では、グループで協力しながら火起こしから始めカレーを作りました。火起こしと火力を保つことが大変でしたが、おいしいカレーを作ることができました。今回のメンバーは、参加者・スタッフ関係無しにみんなが積極的に行動し、空いた時間はみんなで話したりゲームをしたりとても充実した三日間を送ることができました。スタッフや参加者のみんなも楽しんでくれたようなので、嬉しか



福島梨帆

ったです。ここで築いた絆を大切に、またみんなに再開したいです。皆さんのお陰で楽しいイベントになりました。ありがとう。



多文化交流 in 釜山 2015

2015年12月23日(水)～30日(水)に実施されました、多文化交流 in 釜山2015冬より。



釜山で過ごすクリスマスに興奮気味の参加者たち

「多文化交流 in 釜山を終えて」

引率 群馬県立女子大学 田島 沙希

今回、私は初めて海外多文化の引率を務めさせていただきました。はじめは参加者としてこの多文化釜山に参加しようと思っていましたが、太田先生に今回は引率ができる人がいないため、開催できるかわからないと言われました。私はずっと多文化釜山に参加したいと思っていたのでショックでした。そんな私をみて太田先生が「あなたが引率をやってみないか」と言ってくださったことで始まりました。今思い返してみるとこの時に引率という役割を引き受けて本当によかったなと感じています。当初は8月の下旬に多文化釜山を実施する予定でしたが、この時期に韓国でMARSがはやってしまったので、延期となってしまいました。いろいろ遠回りはしましたが、12月のクリスマスシーズンに実施することができて



田島沙希

よかったと感じています。このプログラムでは 3 泊タシリ町で釜山外国語大の学生と交流し、2 泊ホームステイをしました。タシリ町での交流ではたくさんの友達ができました。初めてみんなに出会って緊張した1日目。すいとん、ケーキ、BBQ パーティーをしてたくさん食べてプレゼント交換もした2日目。個性豊かにデコレーションされたケーキを食べ、夜にはどんなプレゼントがもらえるのかドキドキ。キンパブ、豆腐作り体験、伝統レクリエーションをした3日目。レクリエーション大会で最下位になると皿洗いの罰ゲーム！豆腐づくりではとても大きいお鍋を使いました。記念の T シャツづくりをした4日目。みんなとお別れするのはとてもつらかったです。5日目からはそれぞれのホームステイが始まりました。私はシン・グァンのお家にお世話になりスンチョンという場所にきました。韓国の家庭にホームステイさせていただくのは初めてだったので、とても緊張しました。しかし、ご家族の方がとても親切にしてくださり、たくさんの思い出ができました。機会があったらまたみんなに会いに行きたいです。この多文化交流 in 釜山ができたのも、長い時間一生懸命準備してくてくれたスタッフがいるからです。8名ののびのびスタッフのみんな、本当にありがとう。このプログラムに参加できたことでたくさんのことを学び、とてもいい経験をさせていただくことができました。関わってくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです！！



↑お豆腐作り体験



韓国の伝統料理「キンパ」づくり体験

↑日本の文化紹介のプレゼンをしてくれた参加者の塚原千陽さ

「多文化交流 in 釜山 2015 に参加して」

高崎経済大学 吉田 萌

12月23日から12月30日にかけて多文化交流 in 釜山が行われました。私は、昨年の夏の多文化交流 in 韓国に初めて参加してから多文化にどっぷりはまり、海外多文化は今回で2回目の参加となります。前回参加した時に、最後みんなと離れるのが悲しすぎて大号泣した記憶が今も残っていたので、この1週間は今が特別な瞬間なんだということを毎日実感しながら過ごしていました。今回こそは大号泣はしなかったものの、帰国し



吉田萌

て1週間経った今も“多文化シック”から抜け出せずにいます。

ワクワクが止まらなかった前泊の成田、金海空港からカラオケ付きバスで熱唱しながらタシリへ移動、久々の再会、たくさんの新たな出会い、極寒の中での冷たいシャワー、毎晩の飲み会、毎朝みんなでやった国民体操・ラジオ体操、本気すぎるレク、ドキドキのクリスマスプレゼント交換、すいとん・豆腐・ケーキ・キンパブ作り、苦戦した伝統ゲーム、みんなで丸くなってTシャツ作り、誰かがカメラを向けるとみんな集まってくる写真撮影、部屋でのガールズトーク、寒すぎる夜の皿洗い、思い出が詰まったスライドショー、シンカンの家でのホームステイ、可愛すぎるハリネズミのドッチと子犬のクッキー、お母さんの美味すぎる家庭料理、楽しみにしていた韓国の年末の音楽番組、連れて行ってもらった数々の観光名所、ジェットコースターのような路線バス、3回もやったボーリング、とてもはしゃいだ韓国の制服体験、、、と、つらつら書きましたが、書ききれないくらい毎日が幸せで温かい思い出が詰まった1週間を過ごすことができました。思い出だけで笑顔になれます。前回の多文化交流 in 韓国とは全く違う雰囲気でしたが、今回も本当に特別な交流ができました。このような素敵な交流ができたのも、私たちのために企画を練り、プログラム中もずっとお世話をしてくれたのびのびのスタッフのみんながいたからだと思っています。みんな本当にありがとうございました。また、ホームステイで温かく迎え入れてくださったシンカンのお母さんにも心から感謝しています。ありがとうございました。また絶対にごうちゃんと一緒に会いに行きます。

この多文化交流は「韓国」と「日本」の交流ではなく、「人」と「人」との交流なんだということを改めて感じました。一緒にご飯を食べて、同じ部屋で寝て、たくさん話して笑い合っ、みんなといることが当たり前になってしまうような感覚に陥るほど純粋に人と人が交流できるのです。私は前回の多文化韓国で仲良くなった韓国の友達と今も連絡を取り続けていて、この前日本に来たので東京を案内しました。このように海を越えても繋がっていられる友達を持てたのも、多文化交流がきっかけです。今回の多文化で出会った友達ともこれからもずっと繋がりたいです。

本当に本当に、最高の1週間でした。みんな大好きです。出会いに感謝！



ホームステイプログラム中の田島と吉田

多文化交流 in ぐんま 2016 冬

2016年2月13日（土）～15日（月）に実施しました、多文化交流 in ぐんま 2016 冬より。



最終日の凧作り。その後は強風の中での凧上げとなりました。

「多文化交流」

高崎経済大学 齋藤恒平

2016年2月13日から15日の2泊3日という日程で、今回も無事に「多文化交流 in ぐんま」が終了しました。私にとって今回で5度目となった多文化ですが、相変わらずその魅力は健在でした。

今回はここ数回の開催に比べ参加人数が少なかったこともあり、濃く有意義な交流ができたのではないかと思います。人数が少なくても静かで盛り上がり、なんでもなく、いつも通り個性の強い参加者たちがにぎやかで楽しい多文化にしてくれました。

2014年の夏の開催に続き2度目の代表という立場となった今回の多文化では、以前より経験値も増え見える範囲も広がり、初代表時のリベンジができたらしいなと思っていました。今回はスタッフの入れ替わりがほとんどなく、経験豊富なスタッフが揃っていたので、私はかなり楽をした気がします(笑)。任せた仕事はきっちりこなしてくれる安心感は計り知れず、ほん、きみこ、しばた、ごー、にしこ、まつの7人でスタッフをやれたことを本当に嬉しく思います。

大学1年生の冬から多文化ぐんまのスタッフを続けて早くも2年が経ち、新年度から4年生となる私は、多文化に注ぎ過ぎてきたエネルギーを就職活動と学校にシフトしなければならないため、次回の多文化のスタッフはできません。ずっと携わってきた多文化の運営から離れるのは寂しいですが、一線を引いて後輩たちの頼もしい姿を見るのが楽しみでもあります。小学生から続けている地元のスポーツクラブでつながっていたドイツ人留学生主催の寄せ集めサッカーマッチで出会った数馬さんに、多文化交流に誘ってもらえていなければ、私の大学生活は何の色もない味気ないものとなっていたかもしれません。今となってはあの時の偶然の巡りあわせに感謝です。多文化交流はこの2年間で私を大きく成長させてくれました。色々な国に友達ができました。も



代表の齋藤さんとスタッフのみんな

ちろん国内の友達も増えました。今までの自分ではあり得ない、人をまとめる立場に立ったり、社会と直接関わる経験をすることもできました。これらの人財や経験は、今後の就職活動や実際に社会に出た際のかげがえのない財産になると思います。本当にこの2年間で私にとって大きすぎて、ここに書きたい事、皆さんに伝えたいことがたくさんあるのですが、まとまらなくなってきたので終わりにしたいと思います。

最後になりますが、私と出会ってくれた参加者のみんな、これまで一緒に頑張ってきたスタッフ、関わってくださった全ての皆さん、そして太田先生に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ありがとうございました。



多文化ぐんまはここから始まる、安中駅での集合写真。

「感謝を込めて…」

群馬県立女子大学 小野里佳奈
2年前の夏、脇様からスタッフに誘っていただいて今回で4回目の「多文化交流 in ぐんま」でした。私は毎回このプログラムを終えると寂しくて心がちぎれそうな感覚に襲われます。LINEのアルバムに貼られた3日間で撮られた1000枚以上の写真を見つめ、心の底から「楽しかったなあ!」と思い出に浸っていると気づけば2時間以上経っている…なんてことが2週間以上続きます。これほどまでに多文化が濃く、忘れがたいものになっているのは今回多文化に関わった全員で作りに上げたからだ今回改めて実感しました。

スタッフは3回経験していますが、ミーティングの段階では毎回壁にぶち当たっている気がします。なかなか集まらなかった外国人参加者、好評につき制限しなければならなくなってしまった日本人参加者、うまくイメージできなかった企画、スタッフ間の意見の食い違いやびりびり感…などなど今回も多くの課題がありました。「本当にこのままで大丈夫だろうか。」正直なところさまざま面で不安が残るまま本番を迎えました。しかし、初日に安中駅に集合したみんなの笑顔を見るとそんな不安はすぐに吹き飛びました。全部の企画を中身の濃いものにしてくれて、ちょっとしたハプニングがあったとしてもそれをも楽しんでもらえて、なによりも自分自身があれほど不安がっていたのに3日間心から楽しんで過ごすことができました。私を笑顔にしてくれて、「また参加したい!」と言ってくれた参加者のみんなには感謝の



小野里佳奈

気持ちでいっぱいです。

私事ではありますが、前回は食ボラとして多文化に参加しました。自分がスタッフをしているときは気付きませんでした。1歩離れたところから見ると、気を遣ったり、考えたりすることが多い立場であるにもかかわらず、表情には出さないで自分たちも参加者の一員として心から楽しむことができるスタッフのみんなのバイタリティに感動しました。そんなみんなに憧れてもう1度スタッフをやりたいと思いました。決して楽な立場ではなかったけど、みんなと過ごした3日間に変えられるものはありません。みんなの思い出作りのお手伝いできたこと、みんなの思い出の中にいられたことを嬉しく思います。気付けば韓国や中国をはじめとするさまざまな国籍の友達できました。多文化に出会えていなかったからこんなにも世界中のみんなとつながることはありませんでした。改めて素晴らしいプログラムだなあと実感するとともに携われていることに感動しています。これからもこのつながりを大切にしていきたいと思います。

最後に、一緒に多文化を作ったほっぺ、まつ、しばた、きみこ、ごう、にしこ、スタッフを支え、見守ってくださった太田先生、参加してくれたみんな、今回関わってくださった方々全員に心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



ここぞとばかりに写真を撮る参加者たち。
の中にすんなり溶け込むひげじいを探せ！

「多文化交流 in ぐんま 2016 冬」

高崎経済大学 西遥香

多文化交流って言うイベントがあるんだけど、と友達に紹介してもらって最初は不安な中参加して、もう、今回で3回めになりました。今までは参加者としてでしたが、今回の『多文化交流 in 2016 冬』ではスタッフをさせていただきました。今回のスタッフは私以外みんな経験者だったので、うまくできるか不安でしたが、準備の段階からたくさん協力してもらって安心して企画の準備等を進めることができました。特にペアを組んだきみこにはとても助けられた部分が多く、運動の企画や、3日間の料理を成功させることができ、スタッフとしてのやりがいを多く感じることができました。これで、さらに多文化交流が好きになりました。

多文化交流の魅力としてははずせないと思うのはやはり、太田先生がいつもおっしゃる『ここがスター



西遥香

ト地点である』だと思います。多文化交流に参加するまで、外国人と友達になりたいと思ってはいたのですが、自分から行動を起こすということはしませんでした。しかし、多文化交流に参加してからは多文化交流中にできた外国人の友達はもちろん普段の生活の中でも外国人と関わる場所へいってみたい行動範囲が広がりました。そういった場所で会った人との出会いを大切にしていきたいです。また、その楽しく大切な出会いをこれからも続けていってほしいです。



大盛り上がりを見せた、西企画の球技大会

多文化交流 2016 夏

ホストファミリー大募集!!

多文化交流 2016 夏期間中ホームステイにご協力していただける『ホストファミリー』を募集しています♪ 国境・国籍を超えた「家族の一員」となって、異文化・異世代交流を体験してみませんか？

【ホームステイ概要】

■日程：2016年8月11日（木）～8月13日（土）
（2泊3日）

■集合場所：安中市 学習の森

※ボランティアでの募集となる為、申し訳ありませんが謝礼金等はありません。

■受入参加者：留学生（国籍未定）と日本人の2人1組、ペアでの受け入れをお願いしています。

※ペアでの受け入れが難しいけれど、ホストファミリーに興味があるご家庭の方、一度その旨をご相談ください。

■使用言語：日本語

（留学生は皆、日本語を学んでいます。）

【ホストファミリーに関する申込・ご質問はこちら】
Mail: tabunka.gunma.homestay@gmail.com

Tel: 080-6614-5409

担当: 松原

※多文化交流に関する質問とは連絡先が異なります。

<申込時に以下5点をお知らせください>

①代表者名 ②ご住所 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤ご家族構成（名前）

※性別等ご希望があれば可能な限り対応いたします。

第2回ぐんまカップに向けて

第2回へ向けて全力疾走！

第2回ぐんまカップ

高崎経済大学 福光真優

初めまして、第2回ぐんまカップを代表している福光真優です！みんなからは名前のもじって「みつまる」って呼んでもらっています。このニューズレターを通して、昨年から始まった「ぐんまカップ」について皆さんにいろいろ知ってもらいたいと思います。



福光真優

ご存知の方も多いかもかもしれませんが、ぐんまカップでは、海外の学生を群馬県に招聘し国内外の学生たちに国際交流や多文化理解の場の提供を行います。第2回は2106年11月にインドネシアと韓国で日本語を学ぶ学生向けに日本語コンテストを現地で開催し、2017年2月に群馬県に招待し交流を行うプログラムを実施予定です。国という垣根にとらわれず、ぐんまカップに関わったすべての人が自分事として多文化を理解できるような交流を行いたいのです。私たちの目標は、交流を通して「また逢いたい」とお互いが想い合える友達をつくることです。

今年で第2回を迎えるぐんまカップですが、第1回は昨年5月にインドネシアで日本語コンテストを実施、8月に上位4人の学生を群馬県に招待して交流を行うことが出来ました。

第2回ぐんまカップの日本語コンテストでは、開催国を第1回も開催したインドネシアに加えて、新しく韓国でも行います。日程はインドネシアで11月12日(土)、13日(日)。韓国は11月末を予定しています。今

年は2日間にわたって実施を予定しています。

スタッフで話し合いを重ね、どういう形なら参加者に負担なくぐんまカップのコンテストという「友達づくりの第一歩」を楽しんでもらえるか、考えながら企画を進めています。

招聘プログラムは来年の2月に10日間ほど韓国・インドネシアからの学生を同時に招待することを予定しています。

第2回はどんな学生がコンテストに参加してくれるのか、どんな学生と友達になれるのか、海外のみんなはどんなことを考えながら生活しているのか、どんな話がきけるのか、今からとてもワクワクしています。招聘では日本・インドネシア・韓国、それぞれ違うバックグラウンドを持った学生たちが集まって10日間も一緒にすごして語り合うことでどんな化学反応が生まれるのか、ドキドキです。少し雑な性格の私ですが、コンテスト・招聘プログラムが去年よりいいものになるように、仲間と一緒に丁寧に作りあげていきたいです。

「第2回ぐんまカップをやりたい！」と声をあげてから、一番大変だったことは、開催のための資金を集めることでした。全体予算は300万円を予定しています。現在は協賛を募りその2/3まで集めることが出来ました。そして、先日6月25日にクラウドファンディングを無事に終えることが出来ました。ひとえにご協力くださった皆様のおかげです。この場をかりて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第2回ぐんまカップはこれから日本語コンテスト・招聘プログラムの実施に向けてどんどん面白くなっていきます。引き続き応援よろしくお願い致します。

研究所のメールアドレスが新しくなりました！

『npo_iims@yahoo.co.jp』

研究所主催事業ホームページ等一覧

- ◆NPO 法人国際比較文化研究所：<http://www8.wind.ne.jp/mthc/>
- ◆まなぼる：<http://manapal.gunmablog.net/>
- ◆多文化交流 in ぐんま 2016 夏ホームページ：<http://tabunkagunma.wix.com/mysite>
- ◆多文化交流 facebook：www.facebook.com/tabunka.gunma
- ◆多文化交流スタッフ twitter：@tabunka_gunma
- ◆ぐんまカップホームページ：<http://gunma1.wix.com/gunma-cup>
- ◆ぐんまカップ facebook：<https://www.facebook.com/gunmacup>

お時間のあるときに、ぜひご覧ください。



まなぱるの 2016 年度・順調にスタート！

こんにちは、多目的教育施設「まなぱる」です！今年度は群馬県内（安中・原市・山名）の全ての教室でキッズ向けオールイングリッシュクラス（英語しか使わないクラス）がスタートするなど、新たな試みも含めて…全クラス・全レッスン、順調にスタートを切っています！4月開始以降、各教室で生徒（新規入会）が増え続けている状況で、定員に達したクラスも増えてきて嬉しい悲鳴をあげています。子どもたちの学びと成長のサポートに、今年度も全力を注いでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

☆大ニュース 2016☆

4月から山名教室に先生がもうひとり増えました！



Garrett 先生

Hi, I'm Garrett. Nice to meet you all.
Let's have fun together!

アメリカ・オレゴン州出身の Garrett（ギャレット）先生。いつもニコニコで紳士でとっても優しいです。生徒たちも先生たちも、Garrett 先生が仲間に入り大喜びしています。4月より新規オールイングリッシュ英会話レッスン（木曜日実施）を担当。前橋から1時間かけて汗だくになって自転車であつとばしてきてくれます☆



まなぱるの 2016 年度レッスンは以下の通りです！

- キッズ英会話○
- GARRETT 先生のネイティブ英会話○
（山名キッズのみ）
- JUN 先生のオールイングリッシュ英会話○
（安中キッズのみ）
- 中学生クラス＜英語＞○
- 英検対策指導○
- 中学生クラス＜数学＞○
- 中3生向け5教科指導○
（安中のみ）※山名教室は現在最上級生が中学2年

生です！

- 中高生個別指導（英語）○
- 中高生個別指導（英語以外の教科）○
（安中のみ）※山名講師募集中

※安中＝安中 XD 教室&原市教室

※山名＝山名八幡宮教室



※クラス指導・個別指導共に、4月スタートと同時に埋まってしまった枠もあります。4月中もたくさんの方々に見学・体験にいらしていただいています。ご興味を持っていただいている方はなるべくお早めにご連絡ください♪

クラスのみならず、今年度も様々な国際交流・地域交流のイベントを通して、

「つながり」「ともだち」「まなび」をテーマに活動中！



＜教室インフォ↓適当に都合にあわせて紙面に入れてください！簡略・省略 OK です！＞

まなぱる by NPO 法人国際比較文化研究所

MANAPAL by International Institute of Multi-Cultural Studies

TEL 027-386-8499

FAX 027-386-9000

PHS 070-6659-5738

<http://manapal.gunmablog.net/>

＜本部／原市教室＞

〒379-0133

群馬県安中市原市 3-4-8

＜XD教室＞

〒379-0116

群馬県安中市安中 2456-2

＜山名八幡宮教室＞

〒370-1213

群馬県高崎市山名町 1581

タブンカ 2016 冬に参加して

まなばるの恒例イベントとなりつつある異世代・異文化の国際交流イベント『タブンカ』。2月13日に安中市学習の森にて『タブンカ 2016 冬』を開催しました！

今回はまなぶるのイベントとして初めてお料理作りに挑戦！

留学生（韓国・中国・インドネシアの留学生が参加）や大学生のお兄さんお姉さんとペアになり、協力して料理作りをしました。

初めて会うお兄さんお姉さんが多かったけど、一緒に料理をすることで会話も増え、楽しく美味しい料理が作れたようです♪

今回作ったのは…

- ①「インドネシア」のピサンゴレン（揚げバナナ）
- ②「韓国」のトッポギ
- ③「中国」のきくらげ春雨サラダ
- ④「韓国&日本」の海苔巻き

今回のタブンカもどのお兄さんお姉さんも優しく
ったね♪一緒に協力してお料理できたね♪

みんな苦手なお料理あったかな？ビックリするよう
なお料理あったかな？

今回の料理は「みんなも食べやすい味になるように」と用意しました。でも世界にはいろんな料理があります。ビックリしちゃうもの、美味しくないって思っちゃうようなもの。だけど、その料理を「美味しい」って思って食べている人もいっぱいいます。

国や地域によって違うことはいっぱいあります。肌や目の色・言葉・顔だってみんな違うもんね。

違うことがあってビックリしちゃうこともあるかもしれない、だけど違うことがあって当たり前。違いを受け入れればみんなお友達になれる。今回参加したキッズ達がそんなことを少しでも感じてくれていたら嬉しいです。

今回参加したお兄さんお姉さんの中には、留学が
終わったら出身国に帰っちゃう人・群馬には住んで
いない人もたくさんいます。だけど一緒に参加した
みんなは全員『お友達』。今度会ったらまた一緒にお
話したり、遊んだりしようね♡

まなばるでは、これからも異文化・異世代交流の場をどんどん提供したいと考えています。次のタブンカは何をしようかな～??

(まなはるブログより)

参加したまなぼるキッズのみんなから、代表して2名にのキッズに感想文を書いてもらいました。



飯島 一葉ちゃん
(いいじま いちは)
小学校4年生(当時)

[illegible]



佐藤 琴平くん
(さとう ことひら)
小学校6年生(当時)

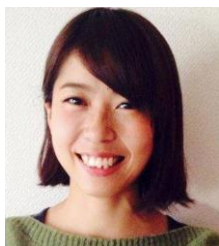
多文化交流に参加して
佐藤 琴平
今年の多文化交流では、外国の人達と一緒に
外国の家庭料理を作りました。作った料理
は、中国のきくらげ春雨サラダ、インドネシ
アのピザングレン、日本の海苔巻き、韓国
の海苔巻きとトッポギを作りました。春雨サ
ラダに生のネギを入れることやバナナに衣をつ
けて油で揚げるピザングレンには驚きました。
しかし、食べてみたら、意外な味で、苦手な
生のネギも食べる事ができました。揚げたバ
ナナも初めて食べましたが、トロトロで美味
しかったです。
中でも僕が一番気に入った料理は韓国の海
苔巻きです。韓国の海苔巻きは日本の海苔巻
きと違いました。酢飯ではなく、胡麻油とゴ
マを混ぜたご飯を使います。中に入れる具も
多いです。ニンジン、ホウレンソウ、たくあん、
魚のすり身をのばして焼いた物を使った
カラフルな巻き寿司です。

巻き寿司作りでは、同じグループの人の海
苔巻きが海苔からあふれていました。海苔を
追加して、巻きなおしていたので、とても大
きな海苔巻きになっていました。それを見て、
近くの人が、「芸術作品だ」と言いました。
本当に芸術的なので、笑ってしまいました。
具が多くて、巻くのは難しかったです。と
ても面白かったです。味も食べた感じも初め
てで美味しかったです。家でも作りたいと思
いました。
たくさんおしゃべりをしたので、会ったば
かりの人と、すぐに仲良くなれました。楽し
くて、あーという間の時間でした。今まで知
らなかった外国の料理や生活も学ぶ事ができ
ました。このような事は普段出来ないの
で、とても良い経験になったと思います。多文化
交流に参加することが出来て、本当に良かった
と思います。

みんなでじょいん！活動報告会実施

菅谷佳名子

新緑輝く5月21日、研究所初の試みである活動報告会「じょいん！」を開催しました。ニューズレターだけでなく、みんなが経験してきたことを応援してくださる皆様にいきいきと伝える場所をつくりたい。この場所を通してさらに研究所に「じょいん！」してもらい多文化共生の輪を広げたい。そんな気持ちで企画をしました。



菅谷佳名子



食ボラ隊による、本場さながらのピサンゴレン（バナナフライ）や春巻きに舌鼓。

LINE を使ってインドネシアにつないだり、韓国・アメリカからもビデオメッセージで感想を寄せてもらったり。食ボラ隊(食事ボランティア)によるバナナフライや春巻きなども振る舞われ、和気あいあいとした会となりました。

発表を通して、みんなの中に心が震える瞬間があったことが伝わってきました。初めての海外にドキドキしたこと。自分たちで企画することの苦勞とやりがい。常識がどっかにいってしまったこと。違う場所で育っても別れ際には涙が出てしまうこと。いつも一緒にいる友人でさえ多文化であるという気づき。伝えきれない事もあったかもしれませんが、どのグループも熱を感じる発表でした。



インドネシアとのテレビ電話中継の様子。みんなの楽しかったがしっかりと伝わってきました！！

経験は十人十色。それをどう表現するかも人それぞれ。しかし、一見ばらばらの中にも研究所が大切にしたい「友達からはじまる多文化交流」がしっかり根付いていることをそこにいた全員が感じることでできたのではないのでしょうか。また、かつてご自身が発表者と同じくらいの世代のときに経験したとと照らし合わせて発表を聴いて下さった方々も多かったことと思います。母体である大衆文化研究会から始まり、NPO としては設立16年目を迎える今、世代を超えて多文化交流の感動を共有していることを再確認しました。

知らないことを知ることを「楽しい！」と感ずることのできる尊さを群馬・安中の地から発信し続けたいと思います。2016年度も研究所の活動目白押しです。どうか応援いただけますと幸いです。じょいん！もさらにパワーアップして開催する予定ですので、ぜひご参加くださいね。



じょいん！終了後の記念撮影。
場の雰囲気に乗れていない爺さん二人も新しい時代の到来を感じています。

総 会 報 告

2015年度の総会報告をお送りできないまま今日に至っております。大変申し訳ありませんでした。ここに2015年度及び2016年度の報告をまとめて致します。

2015年度総会

2015年6月27日、午後2時よりまなばる XDにて開催。出席者 79 名(委任状を含む)にて成立。他に陪席 4 名。

一年間の事業として二度の講演会を道草組との共催で実施：

恩幣宏美氏による「生活を知れば看護が変わる」
2014 年 11 月 22 日、杉浦翔太氏の「日本語インターンシップ報告会」2015 年 1 月 25 日開催。
多文化交流事業としては：

2014 年 6 月に「台湾親子との多文化交流 in ぐんま」を学習の森で、また 2014 年 8 月と 2015 年 2 月に「多文化交流 in ぐんま」を学習の森にて開催。「多文化交流 in 釜山・ソウル」を'14 年 8 月に韓国で、多文化交流 in 静岡を'15 年 2 月に浜松で、多文化交流 in マランを'15 年 3 月にマランにて、それぞれ盛況のうちに終了。さらに研究所創立 15 周年を記念して「ぐんまカップ」を企画し、インドネシアでの日本語コンテストとその勝者の日本招聘にむけて発足。実施は 2015 年に予定。

ニューズレターは 4 月、7 月、10 月、15 年 1 月、3 月に発行。

まなばるでは通年の英会話・学習サポートをベースに「ハロウィン大作戦①もりのまつり編」、「ハロウィン大作戦②国道 18 号編」を実施したほか「台湾親子との多文化交流」、「多文化ぐんま」に加わっての「まなばるの夏フェス」「スポーツでの国際交流」等を実施。

さらに、2014 年 11 月には山名八幡宮教室をスタートさせ、活動地域を拡大した。

決算報告については別紙を参照。

この年度の総会での大きな議題は定款の改定と役員改選及び選任だった。定款は従来理事の定数を 10 人以内としていたものを 8 人以上に変更し、柔軟性を持たせた。また総会や理事会において「電磁的方法」を正式に使えるように変更した。

役員については、任期途中であるが、理事の森泉寿義雄氏辞任と後任の関橋賢氏の就任を可決。さらに新任の理事として菅ヶ谷マコ氏、今井望氏、清水理沙氏、岸綾夏氏、菅谷佳名子氏の就任を決定した。(任期は 2015 年 6 月 27 日から 2016 年 5 月 31 日まで)

2016年度総会

2016 年 5 月 21 日、午後 2 時 45 分から。今年は総会に続いて「じょいん！IIMS 報告会」兼交流会を企画。普段の総会より人の集まりが多くなることを考え、安中市文化センター 3 階大会議室で総会を開催した。出席者 95 名(内委任状 71 名)。

事業は茶話会を 1 回、その他多文化交流諸活動、ぐんまカップ、まなばるの活動など下記のように実施した。

茶話会：2015 年 6 月 14 日に女屋歩美氏をメインスピーカーに「子どもたちと学校の“いま”」をテーマに懇談の時をまなばる XD で持った。女屋氏は学生時代に多文化交流プログラムに参加してくれた若い先生。和やかに充実した茶話会になった。多文化交流事業としては：

2015 年 8 月に「多文化交流 in 静岡」を清水和田島自然の家で開催。静岡の常葉大学、「多文化交流サークル」の活動の一つとして、サークルメンバーが学生会員として研究所主催のプログラムを立ち上げてくれた。'15 年 8 月と'16 年 2 月には「多文化交流 in ぐんま」を学習の森で開催。

そして「多文化交流 in 釜山」を'15 年 12 月に、「多文化交流 in マラン」を'16 年 2 月に実施。

「ぐんまカップ」については、'15 年 5 月にマランでブラウィジャヤ大学を会場に日本語コンテストを開催、その勝者 4 名を 8 月に群馬・東京に招聘して交流プログラムを成功裏に終えた。

まなばるは英会話・学習サポートを通年の活動として実施したほか、多文化交流と合流して「留学生との 1 day 交流 in 安中」を'15 年 8 月と'16 年 2 月に実施。他に他の団体と協力して 8 月に山名八幡宮で「あそび場夏祭り」を、10 月に学習の森で「もりのまつり」を実施。また 11 月にはハロウィン大作戦！ 2015」を安中市街で実施。まなばるの単独イベントとしては水上で「英語漬けアウトドア体験！ in みなかみ」を'16 年 3 月に実施。

今年は全役員が任期満了で退任となり、改選の年にあたり、総会では全役員の再任を承認。

理事長：太田敬雄、副理事長：伊藤成、野口紀子、関千景の他に理事長補佐として太田琢雄を承認。理事は狩野真由美、金井美由紀、福田則行、関橋賢、菅ヶ谷マコ、今井望、清水理沙、岸綾夏、菅谷佳名子。監事は木村隆、幸田一彦の各氏に決定。任期は 2018 年 5 月 31 日まで。

すべての審議を終え、「じょいん！IIMS 報告会」に移り、海外からの声も含めた報告に、研究所のこれからの希望を持つことが出来た。

会員動向・会費・寄付

会費納入のお願い：2016年度、5月の総会、そして「じょいん！IIMS 報告会」も無事に終わり、新たな年度が始まりました。IIMSはこれからも微力ながら世界を一つの平和な人間社会にするための努力を続けて参ります。今後も変わらず皆様にお支えいただければ幸いです。

会費は年額2千円です。 ご寄付もありがたく活用させて頂いております。特定の活動へのご寄付も可能です。同封の振込用紙で会費、寄付等のご分類を明確にしてご送金くださいますようお願いいたします。

会費・寄付・新入会員（2016年4月21日～6月17日）敬称略

<入会> 野口泰佳

<会費> 2016年度分以外の会費につきましてはカッコ内に年度を記載します。

真下東雄、森泉寿義雄、狩野真由美、福田則行、金井美由紀、金井優季、野口紀子、野口泰佳、幸田一彦、関千景、太田琢雄、清水理沙、今井望、菅谷佳名子、朴敬二、櫻井なおみ、内田穂積、佐藤貴雄、松山幸生、梶原悦子、長谷川昇、斎藤宏、佐俣英司、杉浦隆一、高橋美一、本島靖子、菅ヶ谷純弘、正田智美、黒田絢、丸山武子、村田元、菅ヶ谷由美子、吉村耕治（14～16）、宇賀神正美・真実（15・16）、菅ヶ谷純一、斎藤正典、長谷川路子、斎藤和子、長谷川貴尚、木村隆、木村真理子、鈴木武仁、永田強一、田中京三、前田申栄、関橋賢、佐野啓予（15・16）、村井田和夫、阿部洋一、岩井均、土屋操、久米博之・史可、上原映子、木暮道子、丸山輝彦、山崎恵美子、角田敏太郎、細川忍、青木洋子、熊倉浩靖、関口澄、堀越美津子、Candy Koo、

<寄付>

○まなばる 植原映子、木暮道子、

○一般寄附 真下東雄、狩野真由美、福田則行、太田敬雄、伊藤成、金井美由紀、野口紀子、幸田一彦、関千景、菅谷佳名子、長谷川昇、高橋美一、菅ヶ谷純弘、黒田絢、村田元、菅ヶ谷純一、長谷川路子、長谷川貴尚、野村誠、庄田妙子、角田敏太郎、細川忍、野田敏郎、堀越美津子、萩原和子。

○ぐんまカップ協賛 ムービングスクワット、(株)アイテック、荻野屋、村上文治、有)ムラカミ（x2）、泉司法書士事務所、ヨコヤマコーポレーション、(株)並木。

○ぐんまカップ寄付 Candy Koo。

○招聘 菅ヶ谷由美子、木暮道子。

○多文化交流 青木洋子。

《編集後記》

今号の編集は多文化交流 in ぐんまのスタッフリーダー、中島愛さん（群馬県立女子大生）にお願いしました。（太田）

ニューズレターの編集をしてみると、いろんな思い出よみがえってきました。写真選びの途中で思い出に浸りすぎて、作業が止まってしまうなんてこともしばしば。楽しみながら、ときにはパソコンと格闘しながらの編集。出来上がると、いつもより少しだけ愛おしさを感じていました。（中島）



じょいん！にて、研究所事業のしおりやリーフレットが大集合。これらもどうぞよろしくお願ひします。

発行 特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3

電話：027-382-5998 FAX：027-382-6393

研究所ホームページ：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

メールアドレス：npo_iims@yahoo.co.jp

まなばる：<http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>

郵便振替口座番号：00510-1-61974

加入者名：国際比較文化研究所